愛知県議会議員（長久手市選出）

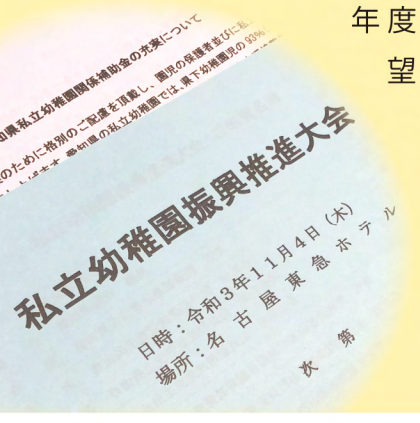
石井よしき

連絡先　長久手市長配3丁目210番地　TEL0561-61-2225/FAX0561-62-9511　ishi43@peach.plala.or.jp

足軽通信
YOSHIKI-ISHII ASIGARU TAKUHAIBIN
2022 新春

幼児教育懇談会を開催して頂きました

昨年11月、愛知県内約400園の私立幼稚園で構成される愛知県私立幼稚園連盟主催の「私立幼稚園振興推進大会」が開催され、その場にて来年度予算に関する要望書を頂きました。同月、それをもとに、長久手市内にある私立幼稚園3園の園長さん並びに保護者の皆さんに幼児教育に関する懇談会を催して頂きました。



県と私立幼稚園との関係は密接で、保護者の負担を軽減するため、県は様々な施策を進めております。例えば、設置者への助成として、令和3年度学校法人立、園児一人当たり192,618円の補助額となり、他にも施設整備補助、特別支援教育補助等を行いながら、一方で保護者への助成として、授業料等軽減補助等を行っています。

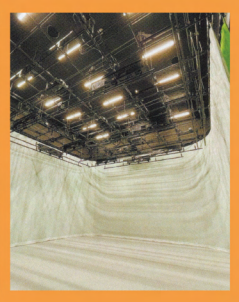
懇談の場では、長久手市に関する課題も多数あることから、懇談後は、皆さんと市の担当課への要望活動も併せて行いました。子供たちの健やかな成長のための人的、物的環境を整えるため、現在、要望書をもとに県と予算交渉を行っています。

2022年1月20日現在

次世代を担う優秀な人材を長久手に集めます。

県芸大にメディア映像専攻開設

国の進めるコンテンツ産業政策やクールジャパン戦略の取り組みを主導していく人材の育成や、アニメ・映画産業や芸術文化の担い手となる表現者の育成を行います。また、3DCG、VR、MR、ARなどの最新技術を活用したメディア映像表現のできる人材等を支援する施設を作ります。



予算総額　435,127千円
新校舎建設（映像スタジオ、録音室等）、既存校舎改修（CGスタジオ、アニメーションスタジオ等）

令和4年4月から開設

11月議会で決まったこと（抜粋）

- 私立幼稚園の感染症対策並びにICT環境整備費 136,500千円
- 保育所等の感染症対策費（調理場・トイレの乾式化、非接触型蛇口設置） 8,500千円
- 障害福祉サービス事業者支援費（就労支援、ICT環境整備） 20,500千円
- 社会福祉施設支援費（燃油価格高騰の影響を受けながらも安定的なサービスの提供を継続的に進めている施設の支援＜介護事業所、障害福祉サービス事業所、保育所等＞） 964,786千円
- 私立学校スクールバス支援費（燃油価格高騰によりバス1台10,000円/月の支援〈幼稚園、小、中、高学校、専修学校〉） 36,360千円
- 工業、農業、水産業科を設置する県立高校支援費（県内21校を対象にタブレットの整備、ネットワーク点検、オンライン授業のICT機器の整備） 1,426,715千円
- 施設園芸省エネルギー化施設整備費（燃油価格高騰により省エネルギー化を進める施設） 150,000千円
- 看護職員の処遇改善支援（コロナ医療に役割を担う医療機関に勤務する看護職員の収入の支援〈対象者：約33,000人　対象時期：2月、3月〉） 264,000千円
- 社会福祉施設職員の処遇改善支援（介護事業所、障害福祉サービス事業所職員〈対象者：約13万人　対象期間：2月、3月〉） 2,291,827千円

石井よしき
足軽通信
2022 新春

足軽宅配便

みなさんの声を
県政に届けます

新型コロナウイルス感染症 第6波への取り組み

コロナ対策における愛知県のワクチン大規模集団接種

県の大規模集団接種は5月24日から11月25日までの半年間で、延べ約91万回の接種を行ってきました。その間、長久手市からの要請によりバンテリンドームでの接種の組み入れも行ってきました。

今回、新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）の大規模集団接種会場を開設します。

医療提供体制の強化

コロナ感染者病床を感染状況によるレベルに応じて稼働することとし、平常時の1141床から最大2534床稼働できるよう整備。また、重症者病床数も第5波の際の183床から230床へ増床。

保健所機能の強化

業務が集中する保健所機能を効率化するため、軽症者、無症状者の健康観察を2回目以降は外部委託し、保健所職員は専門性の高い疫学調査や入院調整業務に従事できるよう変更。

宿泊療養施設

無症状、軽症者療養施設として6つのホテルを借り上げ、尾張部1067室、三河部561室を確保し、その内70%から85%を稼働できるよう整備。

PCR等検査無料化

健康上の理由等によりワクチン未接種の方、12歳未満の子ども（期間：2022年3月31日まで）感染の疑いのある方（期間：2022年2月28日まで）を対象とした抗原定性検査の無料化（場所：長久手市ではスギ薬局）

2022年1月25日現在

大規模集団接種会場（長久手市近隣のみ抜粋）

	開設期間	接種規模	対象者	開設時間	予約方法	使用ワクチン
名古屋空港ターミナルビル（豊山町）	2022年1月24日(月)～7月31日(日)（189日間） ※すべての会場において7月末まで延長予定	1日 最大1,000人	新型コロナワクチンの2回目接種を完了し、県内に在住、在勤、在学する方	9時～21時	県のLINE予約システム、コールセンターでの電話受付	モデルナ社ワクチン
藤田医科大学（豊明市）		1日 最大500人		12時～22時		

■65歳以上の一般の方で2回目のワクチン接種から6か月が経過している方が対象（2022年2月1日からは64歳以下の一般の方も対象）
■接種券が必要となります。

愛知県大規模集団接種会場予約コールセンター　0570-666-885　午前9時～午後5時

新型コロナウイルス感染症関連の主な相談窓口

県民相談総合窓口	052-954-7453	午前9時から午後5時（毎日）
受信・相談センター 瀬戸保健所	0561-21-1699	平日午前9時から午後5時30分
夜間・休日の受診相談窓口	052-526-5887	平日夜間／午後5時30分から翌午前9時　土日祝日／24時間体制
かかりつけの診療所・病院が開いていないときの相談窓口		
愛知県救急医療情報センター	0561-82-1133	24時間体制
看護師による相談窓口		
感染症対策局感染症対策課	052-954-6272	午前9時から午後5時30分（土日祝日を含む毎日）

長久手市でのワクチン接種コールセンター　0561-56-0120　午前9時から午後5時45分

委員会質問

太陽光発電パネルの廃棄について（抜粋）

Q. FIT制度、再エネ買取制度が2012年にできてから太陽光パネルの設置台数は県内でどのくらいあるのか？また将来の見込みは？

A. 県内で2021年3月現在で約26万件で年間約1万5千件増加している。

Q. 耐用年数を25年とした場合、将来の廃棄量の見込みは？

A. 2040年代に廃棄のピークとなり国が年間約80万トン、県では約3万6千トンと試算している。

Q. 福岡県では廃棄量1万トンでPaypayドーム約25個分と聞いた。すごい量である。本来は設置者の売電収入の中に将来のパネル廃棄等費用も含まれるが、使ってしまえば廃棄は困難となり、産業廃棄物が至る所に点在することになる。国でも来年度に法改正を考えているが、県としての考え方は？

A. 廃棄等費用の積立て実施率が低いことは認識している。国の制度により処分費が担保されていくと思う。

Q. 産業廃棄物は県が取り扱う業務である。廃棄等費用の積立ての啓発も含めて、将来を見越せば、県が担う役割は大きいと思うがどうか？　また、リサイクルという観点から県としての考え方は？

A. 各機関と連携しながら不法投棄、不適正処理の防止のための監視を行っていく。また、処分量を出来る限り低減できるようリユース、リサイクルを促進するよう県の計画で定めている。また補助金によって太陽光発電パネルのリサイクル事業施設整備の支援も進めて行く。